

新任教員紹介

New teacher introduction



立教大学大学院 特任教授 **手塚 貞治**教授

Sadaharu Tozuka

手塚先生の自己紹介と大事にしている価値観を教えてください。

大学卒業後、事業会社勤務を経て、コンサルティング会社に転身しました。それ以来二十数年、現在も経営コンサルタントとして働いています。中堅中小企業支援が専門であり、経営戦略立案・事業計画策定・経営幹部育成・IPO支援・事業承継等の領域で200件超の案件に従事してきました。また社内では、若手コンサルタントの育成にも携わっています。

そして本年4月より、本学RBSの特任教授として赴任しました。実務家教員の一人として、理論と実践の両面から「使える経営戦略」をモットーにしています。

私が常日頃思っているのは、「ご縁を大切に」ということです。いろいろな方々とのご縁こそが、人生を形作っていると感じているからです。

そして私自身のミッションと考えているのが、「学び合いの場を導く」ということです。みんなで一緒に学び合って絆を深めていく場を築くことを目指しています。教員・コンサルタントという仕事以外でも、プライベートで読書会なども主宰しています。私自身もみなさんから学びつつ、ご縁を大切にしていきたいと考えています。

実務家として活躍されておられていた中、教鞭をとられる事になったきっかけはありますか。

私自身も社会人学生として、働きながら修士課程、博士課程と修了し、博士号を取得しました。その意味で、社会人学生の学びを支援したいとずっと思っていました。

また以前から、論文や書籍を執筆したり、非常勤講師として教壇に立ったりということで、「理論と実践の融合」を目指しており、いずれはこのような形で教鞭を執ればと考えていました。ですから、社会人学生の方々に指導する機会をいただけたのは、私にとって天職だと思っています。

専門研究分野

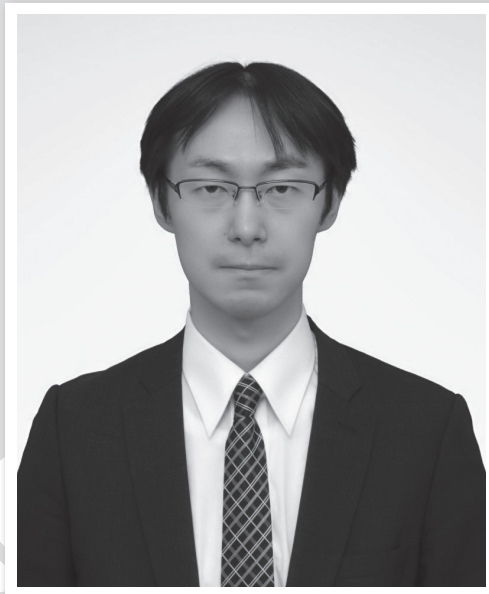
研究としての専門分野は、経営戦略論、ベンチャー企業論、ビジネスプラン方法論等。

RBSの学生へのメッセージをお願いします。

授業やゼミ、それから飲み会(?)等で、できるだけ多くみなさんと「ご縁」ができればうれしい限りです。よろしくをお願いします。

プロフィールやメッセージから先生をより知るための
きっかけにしてみてください。

New teacher introduction



立教大学大学院
助教

平井 直樹 教授

Naoki Hirai

平井先生の自己紹介と大事にしている
価値観を教えてください。

大学卒業後、SEとして働いていました。その傍らRBSに入学(9期)し、博士課程へ進学、博士を取得しました。大学院(RBS)専任ですが、他大学では学部も教えています。専門は組織論で、IT産業を中心とした組織や生産管理などです。修了生のため、皆さんに立ち位置は近いように思っていますし、当時のことを思い出しつつも、学術と実務のバランスを上手くとることが重要だと思っています。

先生が担当している「テクノトレンド」と
「オペレーション・マネジメント」について、
ご紹介をお願いします。

テクノトレンドでは、ビジネスや生活で使われているテクノロジーやそれに関わる企業動向等について広く理解できるよう、最新のテクノロジーを中心に事例を交えて、ディスカッションを行っています。オペレーション・マネジメントでは、企業の活動を俯瞰できるよう、戦略や組織などを中心に各企業の取り組み事例を取り上げていきます。どちらの授業も、第一線で働いている実務家の方をゲストにお呼びし、ディスカッションも行います。その他、ビジネスシミュレーションや論文指導も担当しています。

実務家として活躍されて
おられていた中、教鞭をとられる事になった
きっかけはありますか。

学位取得がきっかけですが、父や祖父も大学教員で身近な存在であったことも影響しているかもしれません。元々実務家ですが、当然ながら会社ではなかなか自分の好きなことに専念したり、それを外部に向けて発表したりといったことはできません。大学院では、自分で研究内容を決め、さらに学会や論文で発表します。そうした研究活動を進めるうちに楽しくなり、もっと続けたいと考えるようになりました。転職する際は悩みましたが、母校である立教に貢献できることから教員になることを決めました。

今後の展望や目標について
お伺いしたいです。

研究に関しては、これまでソフトウェア産業に限った組織構造やその実態に関する研究が中心でした。今後は、より広く他の産業にも手を広げていきたいですし、元々SEだったこともあり、技術の分野を経営学の視点から研究していきたいと思っています。また、RBS修了生ということもあり、RBSをより良くするため学校と院生間の橋渡しになればと思っています。